

日本最古の「テレビ映画」フィルム原版を 国立映画アーカイブに寄贈、長期保存へ

TBS ホールディングス(港区赤坂 5-3-6)は、保有する日本初のテレビ映画『ぼんぼこ物語』(1957.11.11～1958.2.22)のフィルム原版を独立行政法人国立美術館国立映画アーカイブへ保存を委ねることを決定しました。今月下旬より、国立映画アーカイブ保存庫(相模原分館 神奈川県相模原市中央区高根 3-1-4)へ搬入を開始します。



このフィルム原版は、2018年11月にTBSグループのTBSビジョン(現TBSスパークル)の倉庫棚卸しの際に発見されたものです。本編73話と特別編1話の全74話のうち、これまでに69話分のネガフィルムを確認しました。それぞれの缶には画原版、音原版各1のフィルムがあり、画原版69本はすべて再生可能でしたが音原版30本は劣化が進み、一年間の修復作業で19本を修復したものの11本はフィルムの癒着が烈しく修復を断念しました。このため、映像音声とも再生できるフィルムは58話分でした。TBSではすでに映像、音声のデジタルマスタリングを終え、一部を放送以来はじめて2月12日に

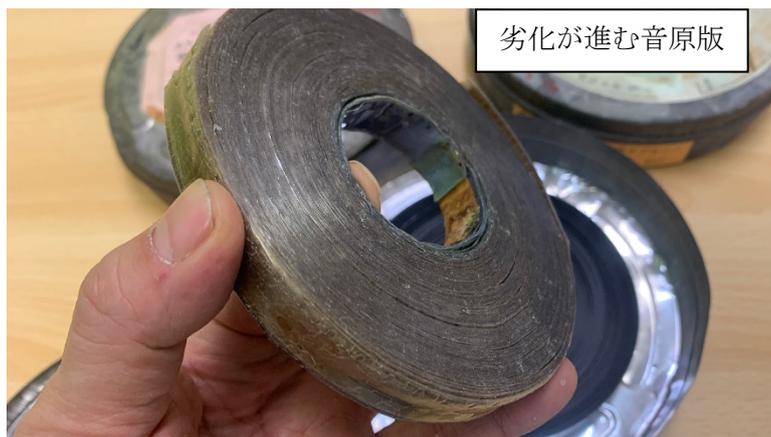
「TBS Vintage Japan ぼんぼこ物語ベストセレクション」としてDVD化します。

原版は63年前にTBSで製作放送された『ぼんぼこ物語』(主演小鳩くるみ 脚本川内康範 制作 東京テレビ映画=現TBSスパークル)のフィルムです。テレビの基本が生放送で、収録物は「テレビ映画」といわれたアメリカからの輸入ドラマー辺倒だった時代に日本で初めて国産のテレビ映画(テレビドラマ)として制作されたことが放送史に残っています。

しかし、その後フィルムの行方が知れず幻の第一号作品となっていました。番組は、「放送史の最前線を切り開いた金字塔」(中央大学市川哲夫教授)として重要な史料です。また国立映画アーカイブも「原版はオリジナルのネガであり、大変に貴重なもの」(国立映画アーカイブ江口浩研究員)であると認識し、劣化が日々進行している現状に鑑み、「世界屈指の保存技術」(入江良郎主任研究員)を誇る保存庫で保存することで両者が合意しました。『ぼんぼこ物語』は日本最古の「テレビ映画」フィルムとして収蔵されます。搬入は2月25日から始まり、国立映画アーカイブではフィルムの検査作業などを経て保存庫に格納し、国の文化財として管理することになります。

国立映画アーカイブも「原版はオリジナルのネガであり、大変に貴重なもの」(国立映画アーカイブ江口浩研究員)であると認識し、劣化が日々進行している現状に鑑み、「世界屈指の保存技術」(入江良郎主任研究員)を誇る保存庫で保存することで両者が合意しました。『ぼんぼこ物語』は日本最古の「テレビ映画」フィルムとして収蔵されます。搬入は2月25日から始まり、国立映画アーカイブではフィルムの検査作業などを経て保存庫に格納し、国の文化財として管理することになります。

■問い合わせ先■TBSホールディングス 発掘プロデューサー小島英人 (080-8131-7773)



劣化が進む音原版